

私立学校における自主行動計画の策定について

平成19年6月27日
全私学連合

1. 私学団体の概要

○団体の名称等

全私学連合

昭和30年6月1日設立（任意団体）

代表：安西祐一郎（学校法人慶應義塾塾長）

代表者会議員：24名

事務局職員：3名

○創立目的

私学団体相互の提携協力によって私学の振興を図り、以って文化の高揚に寄与する。

○組織の概要

- ・ 日本私立大学団体連合会（511校）
 - 日本私立大学連盟（124校）
 - 日本私立大学協会（371校）
 - 日本私立大学振興協会（16校）
- ・ 日本私立短期大学協会（384校）
- ・ 日本私立中学高等学校連合会（1377校）
- ・ 日本私立小学校連合会（170校）
- ・ 全日本私立幼稚園連合会（7794校）

○主な業務内容

私立学校の振興のため、加盟団体相互の連絡調整等を行う。

2. 自主行動計画策定のスケジュール（予定）

- ・ 平成19年8月上旬
全私学連合代表者会議において、私学団体としての自主行動計画策定の方針を決定。
- ・ 平成20年3月まで
全私学連合代表者会議において、団体としての自主行動計画を策定。
→その後、各加盟団体において、それぞれの学校の規模や教育内容に応じた、より具体的な行動計画を策定。

ワセダから、地球へ

早稲田大学環境・安全報告書

2005-06

ワセダから、地球へ

目次

環境報告書ガイドライン対応項目		
1) 経営に資する情報の提供	P-1	
2) 経営に資する情報の提供	P-2	
3) 経営に資する情報の提供	P-4	
4) 経営に資する情報の提供	P-6	
5) 経営に資する情報の提供	P-7	
6) 経営に資する情報の提供	P-8	
7) 経営に資する情報の提供	P-9	
8) 経営に資する情報の提供	P-10	
9) 経営に資する情報の提供	P-11	
10) 経営に資する情報の提供	P-12	
11) 経営に資する情報の提供	P-13	
12) 経営に資する情報の提供	P-14	
13) 経営に資する情報の提供	P-15	
14) 経営に資する情報の提供	P-16	
15) 経営に資する情報の提供	P-17	
16) 経営に資する情報の提供	P-18	
17) 経営に資する情報の提供	P-20	
18) 経営に資する情報の提供	P-22	
19) 経営に資する情報の提供	P-23	
20) 経営に資する情報の提供	P-24	
21) 経営に資する情報の提供	P-25	
22) 経営に資する情報の提供	P-26	
23) 経営に資する情報の提供	P-27	
24) 経営に資する情報の提供	P-28	

環境への取組み



安全への取組み



早稲田大学環境・安全報告書 2005-06

地球環境保全に資する人材の育成と研究の推進をめざして

私たちは今、これまで人類が経験したことの無い
驚動期を迎えています。地球規模の環境問題は21
世紀における人類最大の課題とさえいわれ、国内外
を問わず様々な主体によって積極的な取組みが行わ
れています。その中で、環境保全のために行動する
人づくりにおいては、高等教育が担う役割は更に重
要性を備えています。

早稲田大学は、創設者大隈重信の建学の精神である「学問の独立」「学問の活用」「模範国民の造就」を踏まえ、環境に関する活動方針である「環境宣言」を1999年に定め、人類の未来を左右する地球規模の問題解決に努めてきました。

早稲田大学の教育・研究活動が環境に与える負の影響として、地球温暖化物質の排出、廃棄物の排出、化学物質使用などが挙げられます。われわれはそれらの低減を継続的に実施し、省エネノギヤや廃棄物の削減に成果を挙げるとともに、全学的な化学物質管理体制の整備を推進してきました。

一方、良い影響としては、次代を担う人材育成と様々な学問領域の研究があります。これらは大学特有のものであり、その活動は無限の可能性を秘めているといえます。



早稻田大学 総長

白中花

特に最近では、環境保全活動とボランティアを結びつけた「環境ボランティア」に注力し、学生の自主性を発揮した多様な活動を展開しています。

さらに、これからの時代を担う学生にとって、環境に関する知識や見識は、絶対必要なものと考え、すべての学部学生が修得可能な環境関連科目をオープン教育センターに設置して、環境教育の充実を図っています。

研究面では、プロジェクト研究所の制度を整備し、結果、様々な専門領域の研究者が特定のテーマに
取り組むことで、多様性と総合性を有した学際的な
研究が可能となり、環境分野の研究も盛んに行われ
ています。2007年4月には環境・エネルギー分野
の大学院を新設し、この分野での教育・研究の一層
の進展をめざします。

早稲田大学は2007年10月に創立125周年を迎えます。この節目に『第二の建学』と位置付けています。その歴史の中で、様々な分野で時代を切り拓いた先達の努力を今一度鑑み、われわれの前に与える未来にむかって尊敬と挑戦し、人々の幸福に資する人材の育成と知の活用に全力で取り組むことを期するものであります。

早稲田大学の概要

【名 称】 学校法人早稲田大学
【創 立】 1882年
【立案の概況】 大学および高等学校の経営、教育および研究

【早稻田大学致言】

早稲田大学は學問の獨立を全うし 學問の活用を刻し
模範國民を造就するを以て建學の本旨と爲す
早稲田大學は學問の獨立を本旨と爲すを以て
之が自由研究を主とし

常に独創の研鑽に力め以て

世界の学問に裨補せん事を期す

早稲田大学は学問の活用を本旨と為すを以て
学理を学理として研究すると共に

之を實際に應用するの道を備し以て

時世の進退に資せん事を期す

早稲田大学は模範国民の資質を本質と為すを以下

個性を尊重し、家族を尊重し、国家社会を利益し

併せて広く世界に活動す可き人格を養成せん事を期す

【大】学	【学】部	【学】校	【学】科
18	11	4	別科

爆点・キャンパス

田園詩五首
五 卒

ぶ庄キャンパス

[illegible]

北九州ファンバス

【対象期間】定量的なデータは2005年4月1日～2006年3月31日の期間を掲載しました。
環境保全活動の実績などは2006年7月までの活動を掲載しました。

「報告書作成にあたり参考とした法規制・ガイドライン等」

環境情報の提供の促進等に関する特定事業者等の取組に記載した事業活動の促進に関する法律、環境報告書ガイドライン(2003年改訂版)